

助け合い組織 2年ぶり活動

神奈川・JA相模原市

助け合い組織のJA相模原市あじさいの会は5月中旬、神奈川県相模原市のJA本店でフォローアップ研修会を開き、会員12人が参加した。

会はミニデイサービスなど高齢者福祉活動



タオル体操をする会員の様子
(神奈川県相模原市で)

を行う。コロナ禍を受け対外的な活動は休止しているが、今回、会員の研修や活動再開に向け、約2年ぶりの活

動を行った。

講師にJA保健福祉センターの冨永尚子保健師を招き、ロコモティブシンドロームにつ

いて学習。ロコモを防ぐタオル体操などを行った。

柿澤孝枝副会長は「活動再開に伴い、会員自身の健康づくりから始めようと開いた。まずは集まれて、顔を合わせられたことが成果。今後は、コロナ下でもできる活動を模索していきたい」と話した。(神奈川・相模原)